



奈良県黒滝村

ハイキングにあたっての注意事項

- ルートの見どころ、地形、距離、季節、天候などを充分に調べて、自分の好み、体力にあったルートをお選びください。コース内には携帯電話の通じないエリアもあります。事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。
- 衣服は帽子・長袖・長ズボン、履き慣れたトレッキングシューズ、持ち物は弁当、水筒、雨具、タオル、救急薬品、ビニール袋、着替え、防寒具、地図、コンパスなど準備を万全に、両手が自由に使える体勢で歩きましょう。
- 山歩きは、少なくとも2名以上のグループで行動し、歩く速度はグループの人達に合わせましょう。
- 山中では人に危害を与える動植物に出会うことがあります。音の出る鉈などを携行し、特にクマ、マムシ、ハチ、ウルシなどにご注意ください。

マナーを守って楽しく安全に

- 入山時には、警察署に登山届けを提出しましょう。
- 自分で出したゴミは必ず持ち帰るようにしてください。
- コース内の草木を傷つけたり、持ち帰りなどは絶対にやめましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にせず、喫煙マナーを守りましょう。

お問い合わせ

黒滝村役場 総務課

TEL: 0747-62-2031(代) FAX: 0747-62-2569
〒638-0292 奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸77
http://www.vill.kurotaki.nara.jp
E-mail: kurotaki@vill.kurotaki.nara.jp

吉野山から理源大師ゆかりの鳳閣寺をたずねるコース

約12km・3時間15分

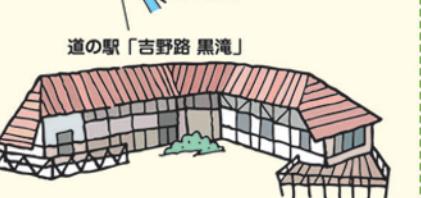
■コース概要

桜の名所吉野山から大峯中興の祖・理源大師ゆかりの鳳閣寺を訪ね、地蔵峠を経て「黒滝・森物語村」、道の駅「吉野路黒滝」までのコースです。金峯神社を経て30分もすれば下市方面の視界が開け、ほどなく百貝岳山頂に到着。山頂にたたずむ小さな祠をあとに、尾根伝いに小道を歩いて理源大師廟塔へ。廟塔前から約15分歩けば鳳閣寺。寺右側を通って地蔵峠へ一旦下ってから粟飯谷までは尾根沿いの道や谷道へとアップダウン。途中、振り返ると百貝岳の堂々とした全容が見えます。粟飯谷川のせせらぎに沿って下ると、黒滝・森物語村に出来ます。ここから道の駅「吉野路黒滝」までは黒滝川沿いのゆるい下り坂です。

■鳳閣寺

百貝岳の中腹に建つ鳳閣寺は役行者が、678(弘文7)年に勅命を受け、国家安泰を祈願する修驗道場として開山し、理源大師聖宝が895(寛永7)年に建立したと伝えられて、7月には修驗道や信者たちが燃える火の上をゆっくりと歩き、人々の無病息灾を祈願する火渡りの神事が行なわれます。

お寺から少し離れたところにある理源大師廟塔は、高さ2.4mの堂々とした姿で国の重要文化財に指定され造立当時の姿をとどめる貴重な歴史的遺品です。



道の駅「吉野路 黒滝」



北欧風の民家をイメージした建物の周囲を取り囲むように黒滝川の清流が流れ、総合案内センターの駅「吉野路 黒滝」。自然とふれあいながらリフレッシュできる憩いのスポットとして、親しまれています。自然の恵みいっぱいの特産品も盛りだくさん。ここから下市口駅まで奈良交通バスで約50分。

[お問い合わせ] TEL: 0747-62-2456



■理源大師聖宝と餅飯殿

役行者が没して百数十年を経た頃、阿古瀬に大蛇が棲みいたために途絶えていた峠入りを、理源大師聖宝が大蛇を退治して復興させ、大峯中興の祖といわれています。

その様子は、理源大師が奈良の先達・箱屋勤兵衛を連れて鳥居山に登り法螺貝の音を響かせて、大蛇をおびき寄せ、法力をもって祝禱し、勤兵衛がまさかりをふるって退治したと伝えられています。

勤兵衛は、大師のもとへ参上するときには、大師の好物である餅や飯などを持参したので、大師は彼のことを餅飯殿とよみました。このことから、勤兵衛の住んでいた奈良の町を餅飯殿町とよぶようになったといわれています。

